

牟佐町内会新聞

第44号

発行日：令和7年1月1日
 発行：牟佐町内会
 責任者：町内会長
 田尻 祐二
 編集：電子町内会運営委員

年頭あいさつ 町内会長 田尻祐二

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨夏は、厳しい暑さとの戦いがありました。防災面では、11月に大原排水機場の稼働がありました。大きな被災もなく一安心。お陰様で防災用土のうちも再準備できました。イベントにつきましては、みそづくりからスタートし、ほのぼの文化祭、牟佐っ子ども教室、運動会、刑務所矯正展でのうどん・ぜんざい・「産地牟佐」イノシシ革製品等の販売、そして12月のもちつき大会等々、コロナ禍前と同程度の水準に戻って、とても賑やかに開催することができました。コロナ禍にあっては、その多くが中止を余儀なくされていたわけですから、よく辛抱したものと思います。下水道工事も進みつつありますが、いよいよ矢津峠を越えて東岡山方面に汚水を送るためのポンプ場も建設着手となりました。



町内会会員世帯数は、昨年戸数が増え、現在1016世帯となりました。より一層、住民同士の交流、参画の機会を大切にしながら、行政を含めた多様な団体との連携、協働で、引き続き課題解決に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

アーチェリー中西絢哉選手 パリ五輪出場



昨夏のパリオリンピックにわが町内、地藏地区在住の中西絢哉選手が出場し、アーチェリー混合団体で5位、男子団体で8位入賞を果たされました。この活躍により、県スポーツ特別顕賞、市人見絹枝スポーツ顕彰の特別スポーツ栄誉賞を受賞されました。試合がテレビで放映されましたが、緊張の場面でも落ち着いて平常心で臨んでいる様子で、強い精神力が感じられました。

中西選手の出場によりパリオリンピックがより身近なものとして感じられ、また次回2028年のロサンゼルスオリンピックでの活躍も期待されます。地元から熱いエールを送り続けたいですね！

もちつき大会を開催

12月1日(日)、「もちつき大会」を予定通り開催しました。「産地牟佐」にこだわった内容で、会場ではお餅と共に、シシ汁(黄ニラ入り)、ぜんざい、モクズガニ、はちみつ(ニホンミツバチ)等をおいしくいただきました。公民館は大賑わいでした。もちつきでは、92歳のSさんが、今回も普通についている姿は驚くばかり。もちつき体験の順番を待っている子どもに年齢を尋ねると、「10歳！」と。シニア世代から子ども会世代の親子や幼児まで一緒に杵を持つ光景に、地域コミュニティーの素晴らしさを改めて実感しました。岡山市の担当課から取材に来ていた方からも高い評価の声が寄せられました。食材を提供いただいた方々、お手伝いくださった運営スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

(町内会長)



第17回牟佐町内会運動会

10月6日晴天の下、牟佐町内会運動会が開催されました。本年度からは、当日参加制度での進行となりましたが各競技に多くの参加を頂き、また初めての試みとなる中学生司会者による進行もあり、大いに盛り上がりました。皆さんも進んで協力していただき、牟佐の団結力を感じました。

小学生による選手宣誓からスタートし、牟佐保育園児によるパラバルーンは心を奪われる程の可愛さ、障害物競争では80代の方が軽やかに縄跳びで走ったり、みんなでリレーでは老若男女全力で走り抜ける姿は圧巻で、終始笑顔あふれる運動会でした。地域の皆様との交流の場として運動会が開催できました事に心から感謝申し上げます。来年度、更に盛り上がる事を期待しております。

(子ども会 中カ 聖未)



「牟佐っ子」子ども教室を開催

令和6年7月21日(日)、小学生を対象に、『牟佐っ子』子ども教室を開催。毎回、夏休みの最初の日曜日です。これは、区づくり推進事業として岡山市から決定をいただいた補助事業です。内容は、「産地牟佐」のイノシシ革を活用した作品づくり。①小銭入れ ②バスカード入れ ③キーホルダーの中から、種類と色を選択。世界に一つだけの作品になります。

小学校1年生でも作れるようにと、「産地牟佐塾」の皆さんが数カ月をかけて、革の切り出しからパーツまで準備。さらに、当日の運営も。終了後の子ども達からのアンケートには、①地域の協働 ②環境にやさしい ③貴重な資源等々、「牟佐っ子」に伝えたかった内容が記されていて、大人たちも大感動。驚くばかりでした。

(町内会長)



アンテナショップ「みなとかぜ」に出品

昨年も「産地牟佐塾」は、刑務所矯正展(2日間)、野生鳥獣・林業振興パネル展(市役所1階ロビー)、牧山クラインガルテン収穫祭などに出店し、「産地牟佐」イノシシ革製品の製作・販売、駆除された有害獣の利活用事業の紹介等に取り組んできました。さらには、公民館を拠点に、毎週木曜日の活動を継続し、個別のオーダー品にも対応するなど、着実にスキルを上げています。昨年夏からは、赤磐市役所近くにオープン間もないアンテナショップの「みなとかぜ」(就労継続支援B型事業所)に製品を置かせてもらい、少しずつ販売実績もアップしてきました。ぜひ一度お出かけください。

(町内会長)



刑務所矯正展



牧山収穫祭



みなとかぜ

みんなの 広場

敬老会に出席し英気を養った

石田 八郎 (桜)

牧石学区敬老会が10月20日に牧石小学校体育館で開催された。会場は多くの人で一杯で、床にはビニールを敷き詰め、各席には、弁当やお土産などがセットされていた。妻は愛育委員で案内などの仕事をしていた。

さて式典は、主催者、来賓の方々の挨拶

に始まり、ピアノ演奏や合唱、フラダンス、演舞(傘踊り)などで華やかだった。地区別に記念撮影を行い、西警察署からは、「特殊詐欺被害」についての講義もあった。自宅近くからタクシーの送迎で助かった。皆様に心から感謝申し上げたい。



「あかいわWind」吹奏楽コンサートを開催して



昨年11月24日北公民館牟佐分館で、隣町の赤磐市民吹奏楽団「あかいわWind」さんが、管楽器による吹奏楽の定番の曲から、シニアクラブ牟佐が希望する懐かしき曲も織り交ぜて演奏する吹奏楽コンサートを開催しました。音楽は心が洗われ、心の健康などに役立つことでもあり、強い思いから、シニアクラブ会員に限らず、広く牟佐住民全員の方々にもご参加を求め、地区回覧等のPRについてお力をお借りするため、牟佐町内会の後援も頂きました。このコンサートには、沢山の皆さんが参加され盛会裏に終わることができました。関係者の皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

(シニアクラブ牟佐 鏡原 憲二)

「シニアクラブ牟佐」が緑化・美化功労者表彰を受賞

令和6年10月19日、岡山市緑化推進大会2024において、「シニアクラブ牟佐」(鏡原憲二会長)が岡山市緑化・美化功労者として表彰されました。これは、牟佐公園の清掃・除草・砂場の手入れ及びトイレ清掃等に永年にわたり取り組み、公園の緑化・美化に多大な功績があると評価されたものです。「シニアクラブ牟佐」の皆さんは、永年にわたり高齢者の地域貢献の取組みとして誇りをもって取り組んでいただいています。町内会としても心から感謝とお慶びを申し上げます。(町内会長)



「みんなの広場」応募方法

〈テーマ〉 自由

(例) ふるさと牟佐、牟佐の自然、私の宝物、趣味、ペット、健康づくり、感動したこと、嬉しかったことなど、なんでもOK。

文字数は400字以内、タイトルを付けてください。

※ 紙面の都合上一部修正の場合があります。敬称略にて掲載いたします。

〈牟佐ギャラリー〉の応募

写真、絵、イラストなど自由。30文字程度のコメントを付けてご応募ください。

〈6月号の応募先〉(Fax、Mailで3月末日までにお申し込みください)

牟佐町内会(牟佐 908-6 田尻会長宅) Fax 086-229-2336

Mail tajiri59yuji@gmail.com

エンジョイ本宮高倉山シリーズ⑦

植田 章夫 (旭)

(事実と推論を分けると読みづらくなるので、区別せず物語風に書きます。)

弥生時代、私たちの先祖は高倉山頂上の巨岩に宿っているという山の神様を崇めていました。このような岩は「磐座(いわくら)」と呼ばれています。頂上は素晴らしい眺望なので、古墳時代には吉備の大王もここで領地の平穏を確認する事もあったでしょう。一般の人々が頂上に登るのは大変でしたから、中腹に中の宮として磐座を模して人工的に石を積んで参拝していました。その後大和朝廷によって各地の八百万(やおよろず)の神様は神社として纏められ、建物が造られ、神話上の神様等を御祭神として祀る神社として整えられました。

現在の高蔵神社の主祭神は天香山命(あめのかぐやまのみこと)、別名を高倉下命(たかくらじのみこと:神武天皇東征の際、熊野で天皇を救った方で、後の功績から産業開発の神としても認識されています)と呼びます。頂上の磐座の前に建てられた本宮は、風雨で劣化が激しく、後に中の宮の前に建物を建てて本殿としてお参りする事になりました。倉と蔵は古代においては同義で、現在の山の名前「本宮高倉山」は、高蔵神社本宮があった事で名づけられています。なお、現在の本殿は江戸時代(1775年)の築造で、その後方に今でも古代の中の宮の石積みが残っています。山の神様は田植えの季節に里に下り、稲刈りの季節に山へ戻るといふ、農作を守り豊作をもたらす神様です。遥拝所を里に構え、春秋の祭りを行う高蔵神社の行事は千年以上も昔からの風習で、私たち牟佐の住民の誇るべき行事となっています。これからも絶やさず継承していきたいものです。



本宮高倉山頂上の磐座



本殿後方の中の宮の石積み



中の宮の石積み(拡大)

頂上の磐座は、ハングライダーのランチャーの北に巨岩が積み重なる姿で現存しています。古代に倣って拜めば、悠久の風と共に山の神様がやってくるかもしれませんね。

今回は本宮高倉山と高蔵神社の関係について語りました。次回はもう少し高蔵神社について掘り下げてみたいと思います。

牟佐公民館 駐車場出入口の改良

公民館北の駐車場入り口に段差があり、車の出入りがしにくいと利用者から指摘されていた改良工事が、町内の有志により10月18日に(10月21日使用開始)行われました。車の出入りも段差を気にしなくて良くなり、安心感も確保できる素晴らしい出来栄です。中心の作業者は藤野さん(黒田)、森本さん(白鷺)、住矢さん(寿)、矢部さん(土井ノ内)の4名です。また駐在所の永瀬さんも用事を済ませ、長靴に履き替えてお手伝いいただきました。皆さんボランティア活動有り難うございました。

平井 守 (桜南)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様よい新年をお迎えのことと思います。今年は「巳年」巳はご存知のようにヘビのことです。クネクネとしたヘビを気味悪がる人も多いですが、一方で“金運アップの象徴”として有名です。また脱皮を繰り返すヘビは、生命力や再生のシンボルとも考えられ、金運のみならず運気を上げる縁起物としては定着しています。

政治経済の先行は不透明で見えにくい部分もありますが「巳年」にならって一層の景気上昇、経済が活性化され、皆様方の生活がより豊かになるよう願って止みません。

(電子町内会運営委員)